

全経簿記1級 工業 第170回 第4問類題

問題

全経工業株式会社の1月中の取引は、次のとおりである。下記の条件を参照して、各勘定口座の()内に勘定科目または金額を記入し、原価計算表を作成しなさい。(44点)

条件

- 1.当社は、個別原価計算制度を採用しており、製造間接費については部門別計算を行っている。
- 2.当社は、顧客の注文に応じて製品を製造している。なお、当月は、製造指図書#201・#202・#203の製造を行ったが、#202の一部に仕損が生じたため、補修指図書#202-R1を発行し、補修を行った。
- 3.材料の消費高については、素材は予定価格により、また工場消耗品は棚卸計算法により計算している。
- 4.労務費については、直接工は作業内容別の時間把握を行い、予定消費賃率により賃金消費高を計算している。しかし、間接工については、作業内容別の時間把握を行っていない。
- 5.月初勘定残高(一部)については、次のとおりである。

素材(借方残高)	¥250,000			
工場消耗品(借方残高)	38,000			
賃金給料(貸方残高)	310,000	(内訳:直接工分 ¥270,000	間接工等分 ¥40,000)	
仕掛品(借方残高)	820,000	(内訳:製造指図書#201 ¥510,000	#202 ¥310,000)	

取引

- 1.素材¥1,475,000および工場消耗品¥152,000を掛けて仕入れた。
- 2.素材を次のとおり消費した。素材の予定価格は¥760(1kgあたり)である。

直接材料費				間接材料費	合計
製造指図書#201	製造指図書#202	製造指図書#203	補修指図書#202-R1		
640kg	750kg	240kg	110kg	160kg	1,900kg

- 3.素材の実際消費価格に実際消費量を乗じて計算した素材費は、¥1,445,500であり、材料消費価格差異を計上した。
- 4.素材の月末実地棚卸高は¥277,000であり、棚卸減耗費は製造間接費とした。(棚卸減耗費勘定は使用しないこと)
- 5.工場消耗品の月末実地棚卸高は¥33,000であり、実際消費高を製造間接費とした。
- 6.直接工および間接工等に対する当月の給与総支給高は¥1,276,000であり、預り金¥132,000を差し引き、正味支払高を当座預金より各従業員の銀行口座へ振り込んだ。なお、総支給高のうち直接工分は¥1,160,000であった。
- 7.直接工の賃金消費高を、次の作業時間によって計上した。予定消費賃率は¥840(1時間あたり)である。

直接作業時間				間接作業時間	合計
製造指図書#201	製造指図書#202	製造指図書#203	補修指図書#202-R1		
450時間	420時間	180時間	70時間	270時間	1,390時間

- 8.直接工の月末未払賃金高は¥284,000 であり、賃率差異を計上した。
- 9.間接工等の月末未払賃金高は¥29,000 であり、実祭消費高を製造間接費とした。
- 10.各製造部門費は、各製造指図書に対して予定配賦を行っている。配賦基準としては、第 1 製造部門費・第 2 製造部門費ともに下記の機械運転時間を採用している。なお、予定配賦率（1 機械運転時間あたり）は、第 1 製造部門費¥550、第 2 製造部門費¥610 である。

[機械運転時間]

製造部門費	製造指図書#201	製造指図書#202	製造指図書#203	補修指図書#202-R1	合計
第 1 製造部門費	250 時間	330 時間	240 時間	50 時間	870 時間
第 2 製造部門費	260 時間	310 時間	240 時間	40 時間	850 時間

- 11.製造経費¥192,100 を小切手を振り出して支払った。なお、製造経費はすべて製造間接費として計上した。
- 12.当月分の減価償却費¥180,000 を製造間接費として計上した。
- 13.当月に発生した製造間接費を各原価部門に振り替えた。
- 第 1 製造部門 ¥249,000 第 2 製造部門 ¥246,000
A 補助部門 ¥250,000 B 補助部門 ¥240,000
- 14.補助部門費を各製造部門へ振り替えた。配賦基準は、下記のとおりである。
- ① A 補助部門費：第 1 製造部門 55% 第 2 製造部門 45%
- ② B 補助部門費：第 1 製造部門 40% 第 2 製造部門 60%
- 15.第 1 製造部門において作業くず¥3,000 が発生し、第 1 製造部門費より控除した。
- 16.第 1 製造部門費および第 2 製造部門費における製造部門費配賦差異を計上した。
- 17.製造指図書#201 および#202 が完成した。なお、補修指図書#202-R1 に集計された製造原価は、作業が完了したので、製造指図書#202 に賦課した。

答案用紙

素 材

前 月 繰 越	()	仕 掛 品	()
()	()	製 造 間 接 費	()
		()	()
		製 造 間 接 費	()
		次 月 繰 越	()
	()		()
前 月 繰 越	()		

工 場 消 耗 品

()	()	()	()
買 掛 金	()	次 月 繰 越	()
	()		()
前 月 繰 越	()		

賃 金 給 料

諸 口	()	前 月 繰 越	()
()	()	仕 掛 品	()
		製 造 間 接 費	()
		()	()
		製 造 間 接 費	()
	()		()
		前 月 繰 越	()

製 造 間 接 費

素 材	()	第 1 製 造 部 門 費	()
素 材	()	()	()
()	()	A 補 助 部 門 費	()
賃 金 給 料	()	B 補 助 部 門 費	()
賃 金 給 料	()		
当 座 預 金	()		
減 価 償 却 累 計 額	()		
	()		()

第 1 製造部門費

製造間接費	()	仕掛品	()
()	()	作業くず	()
B 補助部門費	()	()	()
	()		()

第 2 製造部門費

()	()	()	()
A 補助部門費	()	/	
B 補助部門費	()		
製造部門費配賦差異	()		
	()		()

A 補助部門費

製造間接費	()	()	()
/		第 2 製造部門費	()
	()		()

B 補助部門費

()	()	第 1 製造部門費	()
/		()	()
	()		()

仕掛品

前月繰越	()	仕掛品	()
素材	()	()	()
()	()	次月繰越	()
第 1 製造部門費	()	/	
第 2 製造部門費	()		
仕掛品	()		()
	()		()
前月繰越	()		

原 価 計 算 表

(単位：円)

指図書# 摘要	#201	#202	#203	#202-R1	合計
月初仕掛品原価					
直接材料費					
直接労務費					
第1製造部門費					
第2製造部門費					
小 計					
補 修 費					
合 計					
備 考	完 成	完 成	未 完 成	#202へ賦課	

解答 ● @4点×11=44点

素 材

前月繰越	(250,000)	仕掛品	(1,322,400)
(買掛金)	(1,475,000)	製造間接費	(121,600)
		(材料消費価格差異)	● (1,500)
		製造間接費	(2,500)
		次月繰越	(277,000)
	(1,725,000)		(1,725,000)
前月繰越	(277,000)		

工場消耗品

(前月繰越)	(38,000)	(製造間接費)	● (157,000)
買掛金	(152,000)	次月繰越	(33,000)
	(190,000)		(190,000)
前月繰越	(33,000)		

賃金給料

諸口	(1,276,000)	前月繰越	(310,000)
(次月繰越)	(313,000)	仕掛品	(940,800)
		製造間接費	(226,800)
		(賃率差異)	● (6,400)
		製造間接費	(105,000)
	(1,589,000)		(1,589,000)
		前月繰越	(313,000)

製造間接費

素 材	(121,600)	第1製造部門費	(249,000)
素 材	● (2,500)	(第2製造部門費)	(246,000)
(工場消耗品)	(157,000)	A補助部門費	(250,000)
賃金給料	(226,800)	B補助部門費	(240,000)
賃金給料	(105,000)		
当座預金	(192,100)		
減価償却累計額	(180,000)		
	(985,000)		(985,000)

第 1 製造部門費

製造間接費	(249,000)	仕掛品	(478,500)
(A補助部門費)	(137,500)	作業くず	(3,000)
B補助部門費	(● 96,000)	(製造部門費配賦差異)	(1,000)
	(482,500)		(482,500)

第 2 製造部門費

(製造間接費)	(246,000)	(仕掛品)	(518,500)
A補助部門費	(112,500)		
B補助部門費	(144,000)		
製造部門費配賦差異	(● 16,000)		
	(518,500)		(518,500)

A補助部門費

製造間接費	(250,000)	(第1製造部門費)	(137,500)
		第2製造部門費	(112,500)
	(250,000)		(250,000)

B補助部門費

(製造間接費)	(240,000)	第1製造部門費	(96,000)
		(第2製造部門費)	(144,000)
	(240,000)		(240,000)

仕掛品

前月繰越	(820,000)	仕掛品	(194,300)
素材	(1,322,400)	(製品)	(● 3,468,200)
(賃金給料)	(940,800)	次月繰越	(612,000)
第1製造部門費	(478,500)		
第2製造部門費	(518,500)		
仕掛品	(194,300)		
	(4,274,500)		(4,274,500)
前月繰越	(612,000)		

原 価 計 算 表

(単位：円)

指図書# 摘要	#201	#202	#203	#202-R1	合計
月初仕掛品原価	510,000	310,000	—	—	820,000
直接材料費	486,400	570,000	182,400	● 83,600	1,322,400
直接労務費	378,000	352,800	● 151,200	58,800	940,800
第1製造部門費	● 137,500	181,500	132,000	27,500	478,500
第2製造部門費	158,600	● 189,100	146,400	24,400	518,500
小 計	1,670,500	1,603,400	612,000	194,300	4,080,200
補 修 費	—	194,300	—	△ 194,300	0
合 計	1,670,500	1,797,700	612,000	0	4,080,200
備 考	完 成	完 成	未 完 成	#202へ賦課	

第170回 全経簿記級工業 類題 (部門別)

素材

250,000	(仕) 1,322,400
1,475,000	(向) 121,600
	(差) 1,500
	(損) 2,500
	277,000

工場消耗品

38,000	157,000
152,000	33,000

直工

1,160,000	270,000
	(仕) 940,800
284,000	(向) 226,800
	(差) 6,400

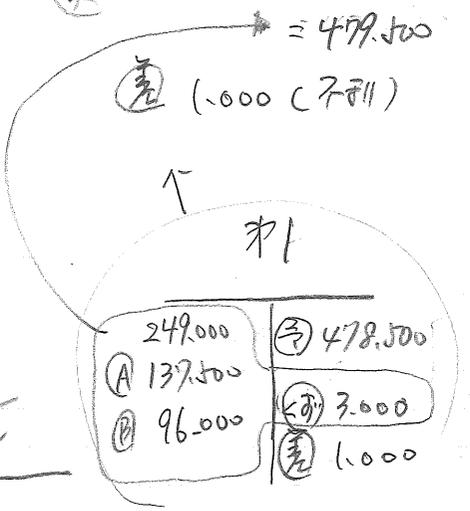
間接工

116,000	40,000
29,000	165,000

製造内接費

(素) 121,600	① 249,000
(損) 2,500	
(消) 157,000	② 246,000
(直) 226,800	
(向) 105,000	(A) 250,000
(控) 192,100	
(折) 180,000	(B) 240,000
	985,000

③ 478,500
 ④ 249,000 + 137,500 + 96,000 - 3,000 = 479,500



材2

246,000	③ 518,500
(A) 112,500	
(B) 144,000	
(差) 16,000	
A	
250,000	① 137,500
	② 112,500
B	
240,000	① 96,000
	② 144,000

仕入

820,000	1,670,500	201
1,322,400	1,797,700	202(仕入)
940,800		
478,500	612,000	203
518,500		